

＜第3回 竜神地域会議 会議録＞

日 時 令和6年6月25日（火） 18:00～19:30
場 所 竜神交流館 多目的ホール
出席者 委 員 15名
事務局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、山口書記
オブザーバー

1 会長あいさつ（省略）

2 報告事項

- （1）第2回竜神地域会議会議録について
 - ・内容の確認
- （2）高岡支所だよりの発行について
 - ・高岡支所だよりについて事務局より説明
- （3）防災体験バスツアーについて
 - ・防災体験バスツアーについて事務局より説明

3 協議事項

- （1）豊田市の取組紹介
 - ①とよた事故削減スマートプラン
 - ②小学校区別交通事故マップ
 - ③とよたデータボード
 - ④豊田市ヒヤリハット体験マップ
 - ⑤とよたの交通事故
 - ・①～⑤について、事務局より説明
 - （③④はスライドを用いて実際のウェブ画面で説明）
- （2）交通安全危険箇所マップ作成について、誰の目線で作成するかを協議
事務局案：表面の小学校区別マップは歩行者・自転車目線、裏面の中学校区全体のマップはドライバー目線で作成する。
 - ・事務局案で良いか確認。委員からの意見はなかったので、事務局案で作成を進める。
- （3）令和7年度に実施する交通安全事業についての協議
3つのグループに分かれてグループワーク
交通安全事業で、次年度にこんなことをやってみたらどうかというアイデアを協議（交通安全危険箇所マップをどのように活用するかも含む）
 - ・グループワーク（30分）
 - ・発表

Aグループ

<次年度の事業アイデア>

- ・企業の方と一緒に立哨活動をする（企業との話し合い、情報交換ができる）
- ・カーブミラーの修繕や白線が消えているのを見つけた場合、どこに連絡したらよいかわからない人が多いので、「道路損傷通報システム」の周知強化
- ・自治区ごとの警察による勉強会開催
- ・スピード超過の車に対し、デジタル表示で「スピード超過」を知らせる表示板設置
- ・事故多発地点等に警察に立ってもらう

<マップの活用方法>

- ・ドライバー目線で作成するので、マップを使って視界を遮るような邪魔なものを撤去
- ・イベントでマップを持って危険箇所を歩いてみる
- ・各家庭及び近隣企業へ配布

Bグループ

<次年度の事業アイデア>

- ・通学路の危険箇所に赤色回転灯設置
- ・事故がなぜそこで起きたのか、原因や現状分析がまず必要

<マップの活用方法>

- ・通学団の班長など、上級生がマップを使って歩いてみる
- ・小学生とセイフティーの人など、人と人をつなげて教育していく方が良い

Cグループ

<次年度の事業アイデア>

- ・生活道路をゾーン30に設定、ゾーン30の看板設置
- ・スピード超過の車が通ったらスピード超過がわかるようにピカッと光るライト設置
- ・パトカーの模型や警察官の模型を設置
- ・青パトの台数を増やす

<マップの活用方法>

- ・危険箇所に目線に合わせた看板などの設置
- ・事故の当事者のランク付けをして、勤務先の会社に対策をたててもらう
- ・危険箇所で起こった事故のDVDを作成し、地域の人にPRする
- ・マップにQRコードをつけて、事故の内容がわかるようにする

★次回開催

7月23日(火) 午後6時00分～